

# 橋爪議員が清里区の 集落間連携を紹介



自治体研究社がこのほど『集落再生と日本の未来』（1800円・税別）を発売しました。

この本の第1章の執筆は橋爪議員が担当し、清里区楡池地区における集落間連携の取り組みを紹介しています。

購入ご希望の方は党議員までご連絡ください。お届けします。

# シニアパスポート対象年齢引き下げを 年金者組合が要望書を提出

2月12日午後、全日本年金者組合上越支部（関口荘六委員長）は、高齢者の願いを代表して、「シニアパスポートの対象年齢の引き下げ」「リフォーム助成制度の拡充」など、12項目にわたる要望書を市長あてに提出しました。

この日は市長に代わり稲荷副市長が対応し、「高齢者福祉では、特に

介護予算に力を入れている」などと答えました。

日本共産党議員団からは、橋爪団長、上野幹事長、平良木議員が同席しました。



# 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 221 2010年2月21日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)  
樋口 良子 544-6802 (中門前3)  
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 525-9096 (上中田)

# ヒマラヤスギは市民の宝！ 切らないで



# 高田区地域協議会で意見書

## 旧西城スポーツ広場の伐採問題

昨年12月4日、村山市長は議長あてに「旧西城スポーツ広場のヒマラヤスギ等伐採について」という報告文書を提出しました。それによると、「現在旧西城スポーツ広場近くで新潟県が施工している電線共

同溝設置工事に伴い、同広場及び広場脇の歩道上のヒマラヤスギ2本（左図）、ヒノキ2本が、開閉器塔設置に支障となるので伐採したいと県上越地域振興局から要請があった。市としては慎重な取り扱いを願いた

いと申し入れをし、協議を行ってきた。その結果、同工事における開閉器塔の設置場所は動かすことができないことなどから伐採を認めることにした」というのです。

出されています。今年に入って、1月19日と2月2日には、杉本敏宏委員（前市議会議員）の提案により、高田区の地域協議会でこの件が取り上げられました。審議では、「切らずに残すための努力をどこまでしたのか」「切らないためにどうするか」といった意見が多数出される中で、「ヒマラヤスギなどを残せるよう、引き続き取り組む」とを求める意見書を提出することになりました。（意見書全文は左記の通り）

平成22年2月2日

上越市長 村山秀幸様

高田区地域協議会 会長 荻原佐知子

## 旧西城スポーツ広場のヒマラヤスギ等の伐採問題に係る意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、旧西城スポーツ広場のヒマラヤスギ等の伐採問題について自主的に審議した結果、下記のとおり意見がまとまりましたので、意見書として提出します。

記

「杜の都」といわれる当区において、様々な理由から昨今各地で大きな樹木の伐採が行われ、年々、まちの景観、みどりが失われていくのは非常に寂しいことです。

こうした中、新潟県の電線共同溝設置工事に伴い、市の所有地である旧西城スポーツ広場のヒマラヤスギ2本とヒノキ1本が伐採され、まちの景観やみどりの一部が更に失われようとしているのは非常に残念な問題です。

また、上越市は、「上越市景観条例」、「上越市民みどりの憲章」を定めており、これらを遵守する観点からも、景観やみどりを守るべき立場である市の所有地において安易に樹木が伐採されることは避けなければならないと考えます。

以上を踏まえ、3月末のヒマラヤスギ等の伐採までの間に、新潟県等との協議、工事方法の再検討等を行い、旧西城スポーツ広場のヒマラヤスギ等を残せるよう引き続き取り組むべきと考えます。